

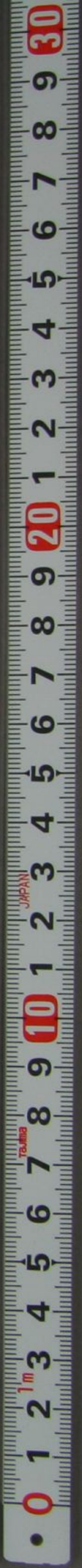
114
A 654



郡制府縣制決行ノ件

元老院ノ議ニ付セラレタル郡制府縣制ハ
同院ニ於テ異議者少ナカラシ其可決未タ必ス可
ラサルモノアリ此際極メテ閣議ノ根本ヲ固メ以テ
不拔ノ廟美ヲ定ムルノ必要ヲ見ル因テ之ヲ左ニ
陳ス
郡制府縣制ハ到底之ヲ決行セサル可ラス市制
所村制已ニ發布シ地方制度ノ大方針ハ已ニ定
マレリ且ツ市制所村制中ノ條項ノ郡制府縣制ニ
關セシモノ極メテサレトセズ且ツ今ニシテ郡制府
縣制ノ發布ヲ中止センカ政府施政ノ方針ヲ
変シタルノ嫌アリテ海内ノ人心ニ影響スルヲ少
ラサルノミナラズ地方官ノ如キハ其地方政務上將來

大正十一年四月
侯爵郵寄贈



ニ照準スル所ヲ夫ニ爲メニ施政上意外、困難
ヲ生セントス故ニ郡制府縣制ハ元老院議決ノ
如何ニ拘ハラス到底連ニ發布セザル可ラズ
元老院ニ於テ可決セシテ其發布ヲ猶豫ス可ラズ
廟議若シ兩制中ノ條項ニ付キ不可トスルモノアラバ
則チ已ムヲ得スレハ裁分ノ修正ヲ加フルハ可ナリ發布
ヲ猶豫ス可カラサルナリ之ニ及シ元老院ニテ否決センキ
則チ断然原案施行ノ地步ヲ取ルハ本官カ欲スル
所ナリト雖モ直ニ原案ヲ施行スルハ少シク顧慮
スル所アリトモ則チ裁分ノ修正ヲ加フルハ本官ノ敢
テ異議マシテ可ニアラサルヲ以テ修正シテ之ヲ發布シ
元老院ニ控視令ニ止ムル歟否ラサレハ修正案ヲ再議
ニ付シカノテ其可決ヲ謀リ而シ後テ之ヲ發布スル歟二者

其一ニ出テサルヘカラサルナリ
郡制府縣制ヲ非議スルモノハ其理由極メテ薄ク條
項亦少シ之ヲ要スルニ仔細ニ玩味セムレテ漠然之ヲ好
マスト云フノ類ニ過キサルナリ今其非議ノ点ヲ挙ク
レハ
第一府縣知事郡長ヲ以テ議長トナフ條
此点原案ハ頗ル知事郡長ヲ以テ議長トナスノ利益
アルコトヲ認メタルニ出ツト雖モ若シ閣議ニ於テ非議
者ノ説容ルヘシトナシ議長公選ノ説ヲ取ラントナラハ本
官ハ強テ之ヲ争ハサルヘシ其實此件ハ元老院委員會
ニ於テ已ニ修正セルヲ以テ之ヲ其終ニナシテ可ナリ
第二府縣郡ヲ行政区劃トシ并ニ其公共事務
ハ官ノ監督ノ下ニ於テ自ラ之ヲ處理スルモノトスル

條

是レ事實ニ於テ如此ナラサル可ラス何トナレハ府縣郡ニ府縣稅及郡費ノ經濟アル以上ハ其事務ハ府縣郡ノ公共事務ニシテ府縣郡ニ於テ自ラ之ヲ処理スヘキモノナルカ故府縣郡ハ一面ハ行政區ニシテ一面ハ地方自治區ナラサル可ラス然レモ此條ハ之ヲ修正シ若クハ全ク之ヲ削除スルニ事ニ於テ害ヲキニヨリ才官ハ敢テ之ヲ拒マサルヘシ

第三 府縣郡參事會ノ職務ニ関スル諸條

此諸條地方自治ヲ許スルノ正路ヨリ論スル時ハ素ヨリ如此ナラサル可ラス然レモ地方事務ニ合議體ノ參事會ヲ用フルハ本邦ニ於テハ稍新割ニ出ル迹アルカ故ニ郡制府縣制ノ非議者ハ此諸條ニ付キ

頗ル顧慮スル所アルニ似タリ故ニ此諸條ニ或分ノ修正ヲ加ヘ參事會ノ權ニ適宜ノ削減ヲ加ヘントラハ是レ已ムヲ得サレモトシテ本官ハ強テ之ヲ拒絶セサルヘシ

第四 府縣郡收入後ヲ參事會ノ推選ニ依リ

府縣會郡會ニテ選任スル條

此條モ亦已ムヲ得スレハ府縣知事ニ於テ之ヲ選任スルコトニ改ムルニ敢テ之ヲ拒マサルヘシ但預メ參事會ノ同意ヲ得ヘキコトニ定メサルヘカラス

此ノ諸點ヲ除クノ外郡制府縣制中ニ於テ如何ナル反對者ト虽モ別ニ異議スルコトヲ得ルノ點ヲ見サレナリ此諸點ニシテ此豫步ヲナス以上ハ後令反對者ト虽モ決シテ兩制ノ決行ヲ支障スルノ理由ヲ見サレナリ

以上ノ主旨ナリヨリ郡制府縣制ハ元老院ノ如何ニ拘ラス斷然發布セサル可ラス但元老院ニ於テ否決ノ場合ニ於テ先ツ發布シテ檢視、付スル手又ハ修正シテ再議ニ付スル欵ハ閣議ノ決スル所ニ任セントス因テ斷然發布ノ件并其發布ノ順序共連ニ閣議ノ一決ノ期望ス

内務大臣山縣有朋

大正十一年四月
隈侯爵郵寄贈

郡制府縣制執行ノ件

曩ニ元老院ノ議ニ付セラレタル郡制府縣制ハ同院ニ於テ異議者少ナカラス其可決未ダ必可カラサルモアリ此際極メラ閣議ノ根本ヲ固ソ以テ不抜ノ廟算ヲ定ムルノ必要ヲ見ル因テ之ヲ左ニ陳ス

郡制府縣制ハ到底之ヲ決行セサル可ラス市制町村制已ニ發布シ地方制度ノ大方針ハ已ニ定マレリ且ツ市制町村制中ノ條項ノ郡制府縣制ニ聯関セルモノ極メラサレトセス且ツ今ニシテ郡制府縣制ノ發布ヲ中止セシカ政府施政ノ方針ヲ變ヒタルノ嫌アリテ海内ノ人心ニ影響スルコト少カラザルノミナラス地方官ノ如キハ其地方政務上將來ニ照準スル所ヲ失ヒ為メニ施政上意外ノ困難ヲ生セントス故ニ郡制府縣制ハ元老院議決ノ

如何ニ拘ハラス到底連ニ發布セサル可ラス
元老院ニ於テ可決セシ乎其發布ヲ猶豫ス可ラス
廟議若シ兩制中ノ條項ニ付キ不可トスルモノアラコ
乎則テ已ムラ得バニ裁令ノ修正ヲ加フルハ可ナリ發布
シ猶豫ス可ラガルナリ之ニ及シ元老院ニテ否決セシ乎
則テ断然原案施行ノ地歩ヲ取ルハ本官カ欲スル
所ナリト雖凡直ニ原案ヲ施行スルハ少シク顧慮ス
ル所アリトセバ則テ裁令ノ修正ヲ加フルハ本官ノ敢テ
異議スル所ニアラサルヲ以テ修正シテ之ヲ發布シ元老
院ハ檢視會ニ止ムル故否ラサレバ修正案ヲ再議ニ付
シカソテ其可決ヲ謀リ而ル後々之ヲ發布スル故二者
其一ニ出ラサルヘカラサルナリ

郡制府縣制ヲ非議スルモノハ其理由極メテ薄ク條

項亦少シ之ヲ要スルニ仔細ニ玩味セシテ漫然之ヲ好
マスト云フノ類ニ過キカルナリ今其非議ノ点ヲ舉ク
レハ

第一 府縣知事郡長ヲ以テ議長トナス條

此点原案ハ頗ル知事郡長ヲ以テ議長トナスノ利益
アルコトヲ認メタルニ出ツト雖凡若シ閣議ニ於テ非議
者ノ執答ルハシトナシ議長公選ノ議ヲ取ラシトナラハ本
官ハ強テ之ヲ争ハサルヘシ其實此件ハ元老院委員會
ニ於テ已ニ修正セルヲ以テ之ヲ其供ニナシテ可ナリ

第二 府縣郡ヲ行政展割トニ并ニ其公共事務

ハ官ノ監督ノ下ニ於テ自ラ之ヲ處理スルモノトスル

條

是レ事實ニ於テ如此ナラサル可ラス何トナレハ府縣郡

府縣稅及郡費ノ經濟ナル以上ハ其事務ハ府縣
郡ノ公共事務ニシテ府縣郡ニ於テ自ラ之ヲ處理ス
ヘキモノナルカ故府縣郡ハ一面ハ行政展ニシテ一面ハ地
方自治區ナラサル可ラス然レモ此策ハ之ヲ修正シ若
クハ全ク之ヲ削除スルニ事ニ於テ害ナキニヨリ本官ハ
敢テ之ヲ拒マサルヘシ

第三 府縣郡參事會ノ職務ニ關スル諸條

此諸條地方自治ヲ許ルスノ正路ヨリ論スル時ハ素
ヨリ如此ナラサル可ラス然レモ地方事務ニ合議體ノ
參事會ヲ用フルハ本邦ニ於テハ稍新創ニ出ルノ途
アルカ故ニ郡制府縣制ノ非議者ハ此諸條ニ付キ
頗ル顧慮スル所アルニ似タリ故ニ此諸條亦幾分
ノ修正ヲ加ヘ參事會ノ權ニ適宜ノ削減ヲ加ヘント

ナラハ是亦已ムヲ得サルモノトシテ本官ハ強テ之ヲ拒
絶セザルヘシ

第四 府縣郡收入役ヲ參事會ノ推選ニ依リ

府縣會郡會ニテ選任スル條

此條モ亦已ムヲ得ズニハ府縣知事ニ於テ之ヲ選任
スルコトニ改ムルモ敢テ之ヲ拒マサルベシ但預メ參事會ノ
同意ヲ得ヘキコトニ定メザルベカラス

此ノ諸點ヲ除クノ外郡制府縣制中ニ於テ如何ナル
反對者トモ別ニ異議スルコトヲ得ルノ点ヲ見サルナリ
此諸點ニシテ此讓歩ヲナス以上ハ假令反對者ト雖モ
決シテ兩制ノ決行ヲ支障スルノ理由ヲ見サルナリ
以上ノ主旨ナルニヨリ郡制府縣制ハ元老院ノ如何
ニ拘ラス断然ニ公布セサル可ラス但元老院ニ於テ否決

ノ場合ニ於テ先ノ發布シテ換視ニ付スル等又ハ修正ニ
テ再議ニ付スル歟ハ閣議ノ決スル所ニ任セントス因テ斷
然發布ノ件并其發布ノ順序共連ニ閣議ノ一決ヲ
期望ス

内務大臣山縣有朋

重信復文

世二年十月五日

大隈外務大臣

五英加友公使

オハシラセ

佛心政府「フハシヨグ」ヨリ撤去スルコトニ決定
シ昨日其旨ヲ英五ハ通譯セリ者境界
ニ及スル問題ノ終結ニ至ル迄ハ川俣
儀アルヘキモ迄及於議ノ直接ノ原因ハ
之ニテ内閣シタルモノナリ

外務省

11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100